

東日本大震災の復旧作業に関連する災害発生状況（速報値）

東日本大震災の復旧作業に関連する死傷者数（休業4日以上）は120人で、うち7人が死亡者数である（4月30日までに発生したもの、速報値）。業種別にみると建設業で69人、製造業で22人、商業で10人等となっている。

建設業の災害を事故の型別で見ると、「墜落・転落」が38人で最も多く、「はさまれ・巻き込まれ」が7人、「激突」、「飛来、落下」がいずれも6人等である。「墜落、転落」の事故では、屋根等からによるものが18人、はしご等からによるものが12人等である。

製造業の災害を事故の型別で見ると、「墜落・転落」、「はさまれ・巻き込まれ」がいずれも6人等である。商業の災害を事故の型別で見ると、「墜落・転落」が4人等である。

なお、東日本大震災の復旧作業に係る災害発生状況については、今後、厚生労働省ホームページ上の「労働災害発生状況（下記アドレス参照）」平成23年分にて、引き続き、更新して公表していきます。

<http://www.mhlw.go.jp/bunya/roudoukijun/anzeneisei/rousai-hassei/index.html>

表1 東日本大震災の復旧・復興に関連する労働災害

(5月16日現在)

	墜落、 転落	転 倒	激 突	飛 来、 落 下	激 突 さ れ	は さ ま れ、 巻 き 込 ま れ	切 れ、 こ す れ	そ の 他	総 計
製造業	6	2		2 (1)	1	6		5	22 (1)
建設業	38 (3)	4	6	6	4	7 (1)	3	1	69 (4)
土木工事業	1	3		3	2	2 (1)	1		12 (1)
建築工事業	29 (2)	1	3	2	1	4	2	1	43 (2)
その他の建設業	8 (1)		3	1	1	1			14 (1)
陸上貨物運送事業	2				1			1	4
商業	4			2 (1)		1		3 (1)	10 (2)
その他	5	3	1	2	0	2	1	1	15
合計	55 (3)	9	7	12 (2)	6	16 (1)	4	11 (1)	120 (7)

資料出所: 死亡災害報告及び労働者死傷病報告(休業4日以上)
平成23年3月11日～4月30日までに発生したもの。

()内は死亡者数である。

表2 死亡災害事例

発生地	事故の型	概要
宮城	飛来、落下	足場を組み立てるため、ロープで部材を荷揚げしていたところ、ロープの結び目が解けて部材が落下し、被災者に激突した。
福島	はさまれ、巻き込まれ	災害廃棄物集積場で、ブルドーザーを運転して盛土を乗り越えようとしたところ、運転席から投げ出されてその下敷きになった。
福島	墜落、転落	瓦屋根の修復工事中、屋根の軒先から墜落した。
茨城	墜落、転落	屋根瓦の撤去工事中、屋根の軒先から墜落した。
栃木	墜落、転落	多層式倉庫の補修工事中、倉庫の棚をよじ登ろうとしたところ、墜落した。
千葉	崩壊、倒壊	倉庫内で地震による地面の液状化で発生した泥を除去していたところ、積んである鋼材の山が崩れて被災者が下敷きになった。
千葉	飛来、落下	天井クレーンで鉄板をつり上げていたところ、つり具が外れ落下し、被災者に激突した。